

## 報告事項 3

令和4年度第1回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

人権教育課いじめ問題等対策室

# 令和4年度 第1回 徳島県いじめ問題等対策審議会について

1 開催日 令和4年6月2日（木）

## 2 本審議会の目的等

- ・平成25年に制定された「いじめ防止対策推進法」の規定に基づき設置。
- ・「徳島県いじめの防止等のための基本的な方針」に基づくいじめの防止等についての調査審議を実施。
- ・学識経験者、保護者、関係行政機関職員、公募選考者等15名を委員として委嘱し、年3回開催。

## 3 内容

### (1) 協議の柱

事務局提示の「文部科学省 令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果等をもとに、

- ①「いじめの防止等のための対策や、いじめをはじめとする生徒指導上の課題について」
  - ②「コロナ禍における子どもたちの生活の変化や、いじめや不登校への影響について」
- を協議の柱として意見交換。

### (2) 各委員からの意見

- ①「いじめの防止等のための対策や、いじめをはじめとする生徒指導上の課題について」
  - ・「いじめがある」と先生に言える状況や、周囲から「大丈夫？」と声をかける雰囲気を作らなければいけない。【保護者】
  - ・地域の方々による巡視、声かけが大切。「大人は見ているよ」というメッセージになる。【学識経験者】
  - ・いじめの態様が成長段階によって違い、その本質は本当に難しい。普遍的な人間の良心や自己肯定感を育むことが肝心である。【学識経験者】
- ②「コロナ禍における子どもたちの生活の変化や、いじめや不登校への影響について」
  - ・コロナ禍で入学してきた大学生や高校生は、ずっとマスクを着けていて、コミュニケーションがしにくく、人間関係が作りづらかったのではないか。子どものつながりや絆が深まる取組が必要でないか。【学識経験者】
  - ・今、私は大学3年で、コロナのため、マスクを外した友達の顔をあまり見たことがない。【公募選考者】
  - ・小学校の頃、友達との人間関係がまだできていないのに、ネット上でグループを作り上げてしまった。人と人とのつながりを強化していかないと、ネットだけで人間関係が完結してしまい、グループに入っていない人の悪口を言ってしまうたりする。【公募選考者】
  - ・人とのつながりを大切にしようと考えることが大事で、そのためには「相手を知る」「自分自身のことを知る」「家族のことを知る」方法が必要。【行政機関職員】

## 4 今後の取組

### ○「つながりリレー動画」の作成

- ・「いじめ問題等対策検討部会」を立ち上げ、その取組として、子ども自身が「身近な人とのつながりの大切さ」を感じることができる動画を募集。
- ・「つながりリレー動画」として、10月から1月までの4ヶ月間、毎月交代しながらリレー形式で県のホームページ、YouTubeに発信・配信。  
(一人一台端末による活用も促進)
- ・12月の「第2回徳島県いじめ問題子どもサミット」において、小中学生が「つながり」をテーマに意見交流を実施。その様子も「つながりリレー動画」として発信・配信。